

アリザリン・コンプレクソンによるマダイ稚仔魚の 耳石標識－II 大量標識

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 乗田, 博, 塚本, 勝巳
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014336

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution 4.0 International License.



アリザリン・コンプレクソンによるマダイ稚仔魚の耳石
標識—II. 大量標識

栗田 博, 塚本勝巳

耳石標識法で ALC の浸漬基準と並んで重要な要件である止水条件下での安全な収容密度を調べ、大量標識を実施した。

マダイの 24 時間止水条件下での安全な収容密度は、ふ化仔魚で 13000 尾/l, 体長 13 mm 稚魚で 120 尾/l, 体長 26 mm 稚魚で 30 尾/l であった。マダイ仔稚魚の安全な収容密度に、サイズ組成、活力、取り扱い、種間関係、ALC 濃度が影響する。マダイで 1074 万尾のふ化仔魚と 40 万尾の稚魚に 12 あるいは 24 時間の ALC 海水溶液の浸漬により耳石標識を実施し、実用的な大量標識ができた。

栽培技研, 17(2), 115-128 (1989)